

令和 8 年度第 1 回牧場運営委員会会議録

1 日 時

令和 8 年 7 月 29 日 (水) 13:30～15:00

2 場 所

幕別町役場 2 階 2-A B 会議室

3 出席者

出席者 7 人 多田委員長、松岡委員、竹林委員、田中委員、鬼山委員、西川委員、川口委員

※欠席 5 人 山田委員、中村委員、西部委員、佐瀬委員、大平委員

事務局 西嶋経済部長、鯨岡総合支所長、遠藤農林課長、平井経済建設課長、堀係長、榊主事、児玉

4 内 容

飯田町長の進行で開催、改選期のため委員及び事務局の自己紹介を行う。

(1) 委員長の選任及び委員長代理の指名

委員長 多田 篤 委員

委員長代理 山田 敏明 委員

報告事項からは多田委員長が進行。

(2) 報告事項

報告第 1 号 令和 8 年度町営牧場の管理体制について

報告第 2 号 令和 8 年度町営牧場管理に係る報告について

報告第 3 号 令和 8 年度入牧状況について

報告第 4 号 令和 8 年度入牧牛の疾病対策について

報告第 5 号 町営牧場における疾病の発生について

報告第 1 号から第 4 号及び追加報告第 5 号まで一括して場長が報告。

【質疑等】

松岡委員：ロケット燃焼実験の 84dB とはどのくらいの音量か？

児玉場長：カラオケボックス程度。10 秒だったので、周辺の鹿の反応の方が影響あった。

多田委員長：小型ピロプラズマ病対策は、駆虫薬の塗布と掃除刈りのみで大丈夫か？

鬼山委員：理想はダニの寿命（2～3年）も考慮し、一時休止できればベストだが、現実的な対応だと思う。鹿等の生き物からの感染経路もあるので完全には防げない。

西川委員：バイチコールの塗布が賢明な策。今年は各地区で感染があるようで薬が品薄の状況となっている。

多田委員長：確かに薬の効果は期待できるのではないかと考えている。家でも使っているが、アブが減っているのは実感している。

竹林委員：この報告はJAにはされているのか？

児玉場長：状況と対応策について入牧農家への個別説明をし、みなさん継続との回答をいただいている。JAへの報告は本委員会での報告のみとしておりましたが、今後は別途JAへの報告についても検討させていただきます。

(3) 協議事項

協議第1号 町営牧場の今後の在り方について

町営牧場の今後の在り方についての趣旨について場長が説明。

【質疑等】

竹林委員：4牧場から3牧場に再編となれば、人員の減も可能になるのか

児玉場長：人員1～2人程度の減は可能と考えている。

竹林委員：現在は年間3千万円程度赤字とのことだが、公共牧場という性格上、地域の酪農、畜産振興に貢献、雇用も確保されている面から、赤字であっても意義ある事業と認識している。

竹林委員：委員の構成について有識者4名がJA幕別2、札内、忠類各1となっている根拠は。

児玉場長：平成18年の合併時に条例が整備されたが、当時のJAの規模（戸数）が根拠であったと認識している。

竹林委員：状況は変わっている。現在入牧牛は忠類が多いという現状もあるため、再考の時期に来ているのではないか。

児玉場長：今回の任期は現体制として、次回選任時に向けて検討させていただきたい。

5 その他

特になし

以上